

Date 11.25.水

NPO法人AMDA国際医療情報センター理事長

医療法人社団小林国際クリニック院長・理事長 公益社団法人大和市医師会会長 小林 米幸さん

地域住民として外国人と接する。1日15-16人くらい受診している。初めは数人だった。
今は3人に1人くらいの割合

★目からウロコ！外国人診療に役立つ（ちづ出版）

1. 採血をする時に針を刺した瞬間引きぬくとする。（フィコンが多いため）

後3から大丈夫と声をかける。安心させる空気づくり

2. 待合室の子どもがうるさい

→理由を説明して注意する

→差別ではなく、病院には具合の悪い人もいて静かにしてほしいと伝える。

3. 「熱い」という訴え

痛いとは違う...

4. 無料で診てくれるところはないかという質問

フィコンやイスラムなどにはお金を払えないと診てくれる病院がある。

→お金がないことの申請を受けなければいけない。

5. 皮膚埋め込み型避妊用インプラントの板金依頼（日本では認められていない）

（ホニモン）局所麻酔、切開、取り出せる。あと日本で取りあがらなければならない所が多い。

→体の調子が悪くなったりする→取ってほしい

最小限の傷（3~4mm）1針~2針での治療を目指して。

6. コインで皮膚を擦るカンボジアの習慣（神奈川県多い）

体温をあげるため？ などが分からない... 子どもに傷があるときかたない...?

子どもはお金を持っているのを好むと述べてる → 左右対称（ナイル）きかたないではない

7. かわいいと頼まれたら、

イスラム教 → 生活・人生 そのもの。（かわいいをしてしめる病院を禁ず）

→ の正しい切り方があるので治療として切ると問題になった

禁まれたら早めに切る。

8. 上座部仏教徒の頭をたぶでこはけない

頭にはスカーフなどがついている → つかずさわらずにしておく

Date

9. 食事に関する宗教上のタブー

豚・肉や牛肉は食べない、食べないといけない お酒を飲んではいけないなど

（あみきちゃんと守っていない人もいる（外国人といえるとはいい人だと言え...）

→ 事前に宗教はあるか聞く → 差別ではなく、食事などについて必要なことだと伝える。

家族や友人に本人が食べられるものを準備して先生などに認めてもらえばいい！

10. 中国系の人には「冷たい食事は妊婦や胎児の健康に悪い」と考えて食べないのに注意

⑧ → 本人の害をない大丈夫と言う。

その人たち、その人が過ぎてきた習慣考えろと否定するのはよくない。

11. 上座部仏教の僧侶に女性が触れるのはタブー

修業が全て無かったことになってしまう。

病気の時は女性でもいらないと考え → しかし、極力男性にお願いする。

12. 男性医師によるイスラム教徒の女性診療

保護者（父・母）の許可があれば異性の医師・看護士でも大丈夫

13. 予約の時間に遅れたり、連絡なく来ないことを...

日本人にもあることだけど外国の人も多い

きちんと説明をする → キャンセルをしてほしいと他のうの治療

14. 友人と話し合わせの上、やってくる

5~6人に来る（患者は1人だった）

待ち合室でうるさくおぼしめたりする

15. 優しい「そうそう」

合っていると思っ言葉を進めると、ただの相づちだった...

16. 入れ歯の話

日本は歯をあみ板がない → 治療に時間がかかると、食事にも困る、歯を残す。

外国ではあみ板 → お金もうけのためだと思ってる

→ 入れ（歯の）が早くなったり... ときちんと説明して理解してもらおう。